

行事開催と参加募集のお知らせ

自主防犯活動についての講座を開催します。

「自主防犯★スタートアップ講座」

受講対象者

- 子ども見守り等、安全安心まちづくりに関する自主的な活動に関心のある人
- 犯罪のない安全・安心岡山県づくりに取り組むリーダー・コーディネーターを志す人（活動実績は不問）

日時 平成24年8月26日（土）
9：30～12：30（昼食の時間は設けません）

場所 津山市大田920グリーンヒルズ津山
リージョンセンター ベンタホール

内容 行政の取組や犯罪状況等の説明
自主パトロール団体の実践事例等

申込要領 平成24年8月17日（金）までに、下記くらし安全安心課まで、郵送、FAX、電子メール又はホームページの申込みフォームからお申し込みください。後日、受講案内を郵送いたします。案内が前日までに届かない場合は御一報下さい。

講座・申込用紙	
氏名(ふりがな)	(歳)
住所 〒	
電話番号(中止等の緊急連絡用)	
所属団体名(所属している場合)	

ファックスでの申込みは、このページをそのままご利用ください。



対象を拡大して募集中!!施設単位で、「子ども見守り団体」を結成しませんか?

募集対象 保護者が子どもを送迎している施設（幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点、児童館、母親クラブ等）単位による、構成員5人以上の団体を募集します。

活動内容 1人でも多くの方に「地域の安全を守る」という「気持ち」を持っていただき、子どもの安全を見守ってもらう活動です。具体的には、毎日の送迎を通じて、「あいさつ」や、「目配り」「気配り」をして子どもの安全に配慮していただく活動です。

登録方法等 県ホームページ内のキーワード検索で「子ども見守り団体」を検索してご覧下さい。
登録された団体には構成員数分のももっちネックストラップをお届けしています。

「防犯力診断」を受けてみませんか?

防犯に関する条例、指針、マニュアルなどを楽しく学んでいただき、県民のみなさんの防犯力を高めていただくことを目的に、その成果を発揮する場として「防犯力診断」を行う予定です。50問の〇×問題で、防犯力を試してみませんか。テキストとなる「安全・安心まちづくり資料集」は、県庁又は各県民局にてお配りしていますので参考にしてください。

お問い合わせ

岡山県 県民生活部 くらし安全安心課
〒700-8670 岡山市北区山下2丁目4番6号

電話 086-226-7259
FAX 086-225-9151

この「安全・安心通信」は、岡山県 県民生活部 くらし安全安心課のホームページにも掲載しています。
(メールアドレス) anzenanshin@pref.okayama.lg.jp
(ホームページ) 岡山県トップページ (<http://www.pref.okayama.jp/>) ▶ 組織で探す ▶ 県民生活部 ▶ くらし安全安心課

犯罪のない安全・安心岡山県づくり

安全・安心通信

第15号

平成24年7月発行

安全は地域のきずなとあなたの意識



岡山県マスコット
「ももっち」と「うらっち」

道路の安全について考えてみませんか

岡山県では、子どもの安全をはじめとする、全ての県民の安全・安心を確保するためのまちづくりの推進に取り組んでいます。

それら取組のなかで、防犯性の高い道路等の普及を図るために、「岡山県犯罪のない安全・安心まちづくり条例」に基づいて、基本的な指針となる道路等の安全指針を策定しています。

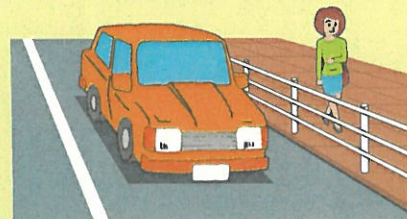
「犯罪の防止に配慮した道路、公園、自動車駐車場及び自転車駐輪場の構造、設備等に関する指針」

～道路編～

- この指針は、不特定かつ多数の者が利用する道路等を対象とする。
- この指針は、道路等を設置し、又は管理する者及び道路等に占用物件を設置し、又は管理する者に対し、道路等の防犯性の向上に係る企画、設計、施設整備及び施設管理上配慮すべき事項を示し、その取組を促すものである。
- この指針に基づく施策の推進に当たっては、道路等における犯罪の発生状況及び地域住民等の要望を勘案し、特に防犯対策を講ずる必要性の高い道路等から整備を図るよう努めるものとする。

① 歩車道の分離

児童等の連れ去りやひったくり被害の防止を図るため、道路の構造、利用形態等を勘案して、必要に応じてガードレール、歩道柵、植栽、縁石等により、歩道と車道を分離すること。



② 見通しの確保

道路に植栽を行う場合は、樹木の種類及び配置を考慮するとともに、道路の見通しを妨げないように下枝等のせん定・伐採を行うこと。また、工作物等を設置する場合には、工作物等が道路の見通しを妨げないように設置すること。



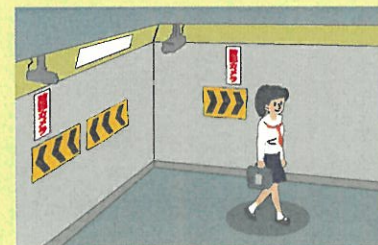
③ 照度の確保

防犯灯及び道路照明灯を設置するに当たっては、これらを適切に設置することにより、夜間及び地下道において人の行動を視認できる程度以上の照度（4メートル先の人の挙動、姿勢等が識別できる程度以上の照度）を確保すること。



④ 防犯設備の設置

地下道などの犯罪発生危険性が高い場所には、必要に応じて防犯ベル、赤色灯、防犯カメラ等を設置し、それらを設置した位置をわかりやすく明示すること。



安全は地域のきずなとあなたの意識

自主パトロール隊2団体が「夢づくり推進大賞」を受賞しました

県では、各地域において積極的に展開されている協働の取組の中から、「第3次おかやま夢づくりプラン」の実現につながる取組を顕彰するため「夢づくり推進表彰」を行っています。

その中で、「夢づくり推進大賞」は、取組の目的、地域への貢献度、先駆性などが快適生活県おかやまを協働して実現していく上で有意義で模範として認められる取組のうち、顕著な成果を収めたと認められる取組を表彰するものです。石井知事が団体の代表者へ表彰状を手渡しました。

地域ぐるみによる子どもや高齢者等の安全確保

西阿知学区防犯連合会

自主防犯組織として55年間にわたり活動し、青色防犯灯を県内で初めて導入するなど先駆的活動を展開しています。町内会単位のパトロール隊育成にも尽力し、現在も児童の登下校時の見守りや地域内の危険箇所の把握と注意喚起等、積極的な取組を実施しています。

地域ぐるみによる犯罪のない安全・安心まちづくりの推進

とみやま安全パトロール隊

町内会員や児童の保護者等が中心となってパトロール隊を結成し、登下校中の児童らの見守りや、独自の広報紙を活用した防犯広報活動を実施するなど、幅広く活動を展開しています。支援自動販売機を設置して、地域の理解を得ながら活動の活性化を図っています。



開催イベント

地域安全マップレベルアップ講習会を開催しました

5月19日（土）、岡山市北区古京町の三光荘において、地域のボランティア、教職員、大学生等を対象とした地域安全マップレベルアップ講習会を開催しました。

地域安全マップの開発者である立正大学の小宮信夫教授は、地域安全マップづくりは犯罪が起こりやすい場所（入りやすい場所、見えにくい場所）の見分け方を身につけることが目的で、不審者マップや犯罪発生マップとは異なることなどを説明され、参加者は、立正大学の学生や指導者養成講座の修了者であるグループリーダーと一緒に、フィールドワークやマップ作製を行い、楽しく学習しました。



入学進学おめでとう「子どもの安全確保」キャンペーンを行いました。

多くの小学校で新学期が始まった4月9日（月）、大学生ボランティア「ももパト隊」、県、県教育委員会、県警察は、県民をあげて子どもの安全を見守ることを呼びかけるキャンペーンを、早朝からJR岡山駅前で行いました。

ももパト隊に所属する就実大学や岡山商科大学の学生達が、出勤する人たちに「今日から新学期です」「子どもの安全を地域のみんで見守りましょう」と呼びかけ、啓発のチラシを配りました。



県内でオレオレ詐欺の被害が止まらないぞ！



オレオレ詐欺って、あの昔ながらの手口ですか？

そうなのじゃ。
誰でも、オレオレ詐欺の存在は知っているにもかかわらず、岡山県内では、いずれも5月末時点で、平成23年 被害件数1件 被害額80万円から
平成24年 被害件数16件 被害総額約3,250万円と激増しており、
岡山県民が狙われておるのじゃ！



こわいですね。どんな方法で騙すんですか？

まずは、**1回目の電話**がかかってきて、「**風邪をひいて声が出ない**」「**電話番号が変わった**」ことだけを伝えてくるのじゃ。このとき、実在する自分の息子や孫の名前を事前に調べて使ってくることもあるので、要注意じゃ。



そのあと、**2回目の電話**がかかってきて、「不倫して相手を妊娠させた」「示談金(慰謝料)が〇〇万円いる」「今日中に払わないと大変なことになる」などと言って、**心配する親心**を利用して**何百万円**ものお金を騙し取るという手口なのじゃ。



「オレオレ」って言うものばかりじゃなく、あらかじめ息子なんかの名前を調べて使ってくるというケースも増えているんですね。騙されないために、どういったことに気をつければいんですか？

大事に貯めたお金を何百万円も騙し取られるなんて、信じられないかもしれないが、オレオレ詐欺の騙しの手口を知っている人も被害に遭っている。親子が離れて暮らしていても、平素から電話などでよく話をすることが大切じゃ。電話の会話中に、「飼っていた犬の名前」や「昔の担任の先生の名前」など、犯人が知らない事を尋ねて「合言葉」にするのも有効じゃな。本当は犬を飼ってなかったとしても、犯人はあわてて会話にならなくなるはずじゃ。「母ちゃんワシじゃけど」などと言って電話がかかってきたら、「**ワシじゃあなからう、サギじゃろう**」と言って、叱ってやればいいのじゃ。

